

9.11テロ  
から7年

# 報復戦争でテロがなくなったか？ アフガンもイラクも、最悪の事態

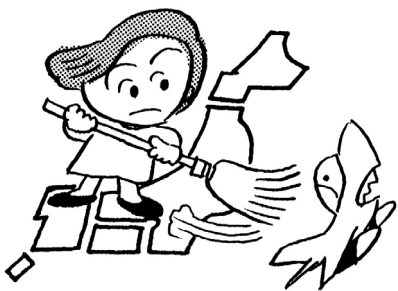
7年前の2001年9月11日の「同時多発テロ」に対する報復として、アメリカは10月8日、アフガニスタンへの空爆を始めました。ブッシュ政権の「対テロ戦争」でテロが根絶されたでしょうか。それどころか戦闘は泥沼化し、治安はますます悪化。国土が破壊され、テロリストとは何の関係もないアフガンの人々の犠牲が後をたちません。これがさらに憎悪をかきたてて、テロや攻撃を拡大してきているのです。日本の自衛隊がインド洋で米軍などに無償で給油し、米軍を手助けしている中で、ついにアフガンの復興を願い奮闘していたNGOの日本人まで拉致され、殺害されるという痛ましい事件が起きました。

## 武力(戦争)でテロはなくせない

アメリカは今年3月に海兵隊3200人を増派し、掃討作戦を強めています。出口のない戦争は「百害あって一利もない」とは明白。無法な戦争をただちにやめるべきです。

イラクの事態も深刻。当初イラク戦争を支持した国が次から次へ撤退し、アメリカなど戦争勢力は、世界中から孤立を深めています。イラク国民の多数も外国軍隊の撤退を求めているというのに、自公連立政権は航空自衛隊の派遣を続け、米軍を支援しているのです。

二つの長引く戦争は、武力では何も解決しないことを証明しているのではないでしょう。紛争は国連を中心とした、平和的外交による解決こそ重要です。



## 許せません

## 「テロ・イラク特措法」の延長 海外派兵恒久法！

来年1月に期限切れとなる「テロ特措法」は延長せず、ただ

日本は武力で介入していないといふ、『美しい誤解』が崩れつつあること、だから延長すれば、そのリスクを覚悟しなくてはならないということ。 (アフガン現地有識者談)

ちにアメリカの戦争支援をやめるべきです。いつでも自衛隊を海外に送れる憲法違反の「派兵恒久法」などこんでもありません。

輝かそう憲法9条、なくそう安保条約

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

大阪市天王寺区玉造元町17-22 TEL 06-6763-3833